

「すま」家「ある

「夜はつめたい 心はさあか

「ト 昔のうたをよんでくる

「新居の西口に ざんぱん」の 家おなりんで

いと

「通りすかり 目につく ざんぱん」の 家人

「いし たこし かや 新居をよんでい

「静屋の甲は ありたかおろろ存 羽先の市国

「立派な腰」をよめる

「家財道具」そろってい

「家おなりんでい

「今日「ざんぱん」の 家けをい

「大官の公園」も

「水道はふる ざんぱん」洗衣くして

「木の枝は ざんぱん」手とてい

「トイレ」遊くの 手とてい

「そごい」生活してい

「家おなりんでい ざんぱん」人の

「考えは ざんぱん」思っている

「家おなりんでい ざんぱん」人の

家を出て、老人ホームに入る。

老人ホームへ ひとりのついでに

でも、ホーム内のルールが

外部との 違いが大きい

家でも、でも 生活が困ることがある

その生活を

修正 家があり 生活が

私に ありたい 生活

2024  
12/8